

やまぐちファシリティネットワーク設立趣意書

(目的)

やまぐちファシリティネットワーク(以下「本ネットワーク」という。)は、山口県の未来を拓き、活力ある地域社会の創造を目指し、以下の目的を掲げます。

1. 研究開発用設備・機器の共同利用促進とそれによる成果の創出

本ネットワークは、参画する大学、高等専門学校、公設試験場等が保有する研究開発用設備・機器の共同利用を促進します。これにより、組織の垣根を越えてこれらの機器を県内の企業や研究機関等に広く活用してもらい、科学技術の振興、産業の活性化、革新的な技術やサービスの創出、そしてこれらを担う人材の育成を図ります。

2. 研究開発用設備・機器の共同利用文化の定着

上記目的の達成に加え、本ネットワークは、会員機関間のもとより、地域の自治体や産業関連団体等とも密接に連携することで、山口県における研究開発用設備・機器の共同利用文化を定着させることを目指します。

(活動内容)

ネットワークは、上記の目的を達成するために、以下の活動を行います。

1. 研究開発用設備・機器情報の共有

会員機関が所有し、共同で利用できる研究開発用設備・機器の種類や利用方法などの情報を集約・共有します。これにより、必要な機器を効率的に探し、利用できるようにします。

2. 共同利用体制の構築と効率的な機器整備

会員機関が連携し、研究開発用設備・機器をスムーズに共同利用できる仕組みを構築します。また、地域全体のニーズを踏まえ、効率的な機器の導入や維持管理についても協力して推進します。

3. 分析・相談の連携

会員機関が持つ分析技術や専門知識を相互に活用できる体制を構築します。企業や研究機関からの分析依頼や技術的な相談に対して、最適な機関を紹介するなど、連携したサポートを提供します。

4. 人材育成の支援

地域における研究・開発・技術分野の人材育成を支援するため、共同での研修プログラムの実施や、機器利用を通じた実践的な学習機会の提供などを行います。

5. 会員間の交流促進

会員機関の研究者や技術者が交流する機会を設け、情報交換や共同研究の促進を図ります。これにより、新たな連携や研究テーマの創出を支援します。

6. 地域社会との連携

会員機関だけでなく、山口県の産業関連団体とも連携し、研究開発用設備・機器の共同利用を地域に根付かせるための活動を推進します。

7. その他

本ネットワークの目的を達成するために必要な活動を行います。

これらの活動を通じて、本ネットワークは山口県における研究開発の活性化と、そこから生まれる成果の社会への還元を目指します。

ネットワークの設立趣意にご賛同いただき、多くの皆様にご参画、利活用くださるようご案内申し上げます。

令和7年10月7日

公益財団法人やまぐち産業振興財団

理事長 山本 謙

公立大学法人山陽小野田市立山口東京理科大学

学長 武田 健

国立大学法人山口大学

学長 谷澤 幸生

地方独立行政法人山口県産業技術センター

理事長 小関 浩幸

独立行政法人国立高等専門学校機構宇部工業高等専門学校

校長 金寺 登

独立行政法人国立高等専門学校機構大島商船高等専門学校

校長 藤本 隆士

独立行政法人国立高等専門学校機構徳山工業高等専門学校

校長 阿部 恵

山口県農林総合技術センター

所長 泉 文男

※50音順